

4 年間商品販売額（統計表第3表）

(1) 卸売業

全道の商業事業所の年間商品販売額は、16兆4,552億円となった。このうち、64.3%を占める卸売業の年間商品販売額は、10兆5,738億円となった。

業種別にみると、年間商品販売額が最も多いのは、「農畜産物・水産物卸売業」2兆5,233億円（構成比23.9%）、次いで「食料・飲料卸売業」1兆4,460億円（13.7%）、「石油・鉱物卸売業」1兆2,188億円（11.5%）、「医薬品・化粧品等卸売業」1兆215億円（9.7%）、「建築材料卸売業」8,715億円（8.2%）の順となっており、これら上位5業種で卸売業全体の67.0%を占めている。

以下、「他に分類されない卸売業」6,445億円（6.1%）、「電気機械器具卸売業」5,848億円（5.5%）、「産業機械器具卸売業」5,564億円（5.3%）、「自動車卸売業」3,762億円（3.6%）、「鉄鋼製品卸売業」3,159億円（3.0%）の順となった。

図11 卸売業販売額（産業小分類）

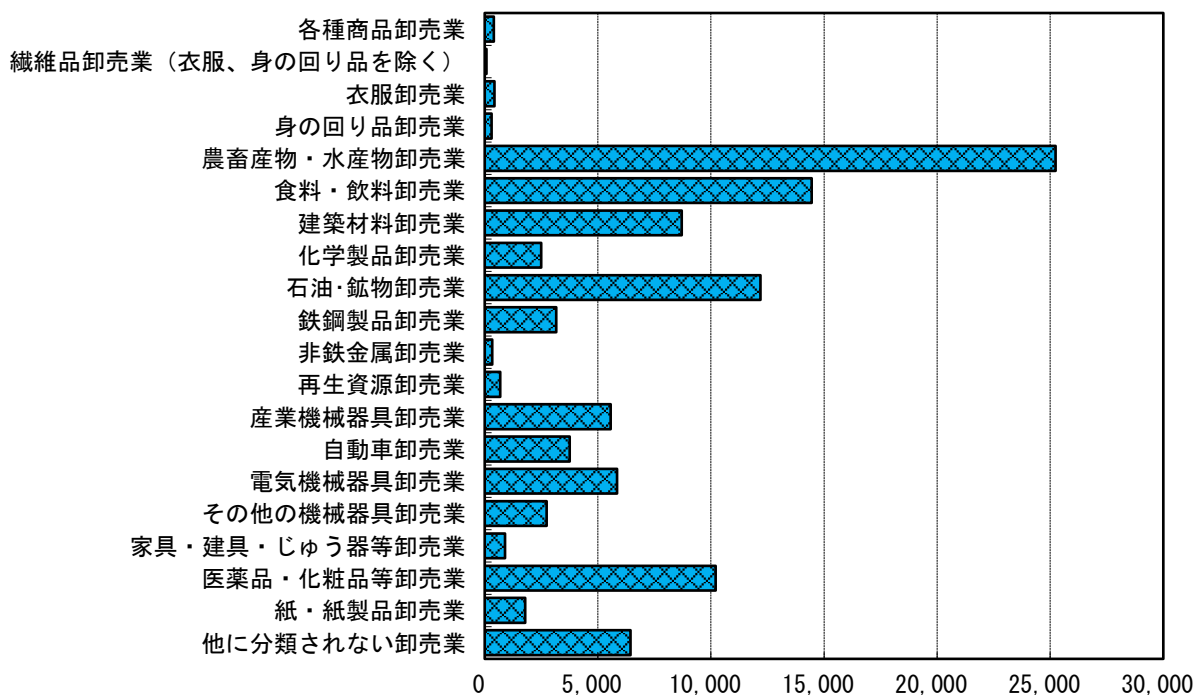


図12 卸売業販売額の業種別構成

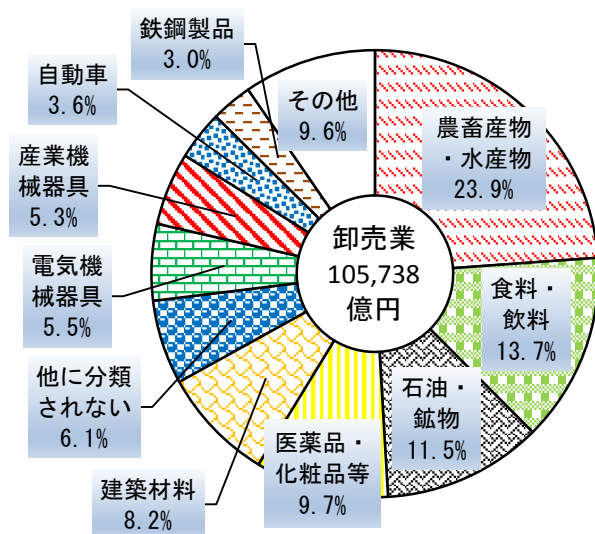
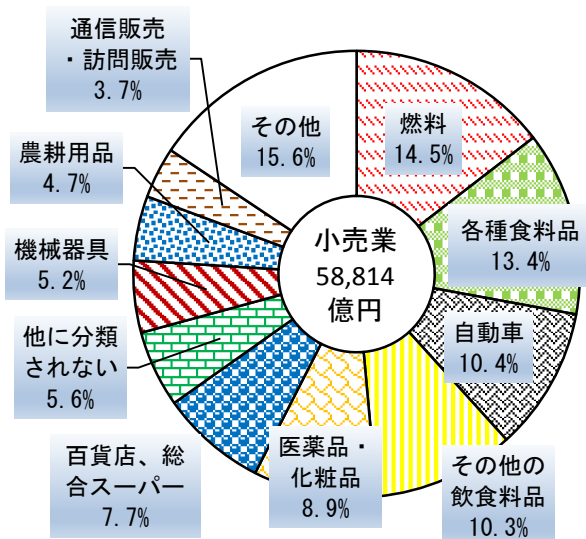


図13 小売業販売額の業種別構成



(2) 小売業

全道の商業事業所の年間商品販売額中 35.7%を占める小売業の年間商品販売額は、5兆8,814億円となった。

業種別にみると、年間商品販売額が最も多いのは、「燃料小売業」8,551億円（構成比14.5%）、次いで「各種食料品小売業」7,853億円（13.4%）、「自動車小売業」6,117億円（10.4%）、「その他の飲食料品小売業」6,042億円（10.3%）、ドラッグストアなどが含まれる「医薬品・化粧品小売業」5,261億円（8.9%）の順となっており、これら上位5業種で小売業全体の57.5%を占めている。

以下、「百貨店、総合スーパー」4,530億円（7.7%）、「他に分類されない小売業」3,271億円（5.6%）、「機械器具小売業（自動車・自転車を除く）」3,063億円（5.2%）、「農耕用品小売業」2,748億円（4.7%）、「通信販売・訪問販売小売業」2,182億円（3.7%）、「婦人・子供服小売業」1,443億円（2.5%）、「書籍・文房具小売業」1,227億円（2.1%）の順となった。

図14 小売業販売額（産業小分類）

